

唐津・能の里づくり

能 松浦佐用姫



日時 平成28年2月20日(土)
13:00 入場開始 14:00 開演

会場 唐津市民会館
唐津市西城内6-33 TEL0955-72-8278

入場料 1,000円 ■小学生・中学生・高校生 無料

券販売所 唐津市民会館 TEL0955-72-8278
古代の森会館 TEL0955-77-0510
唐津市ふるさと会館アルビノ TEL0955-75-5155
大濠公園能楽堂 TEL092-715-2155

【主催】唐津・能の里づくり実行委員会 【後援】唐津市教育委員会

唐津の文化をにろう
子供たちへ



能、松浦佐用姫

と き…平成二十八年二月二十日(土)
 十三時入場開始 十四時開演
 と ころ…唐津市民会館

挨拶・解説

唐津能の里会長 樋口 宏

仕舞

玉之段 多久島 法子

能

前シテ(里の女)
 後シテ(佐用姫の霊) 多久島 利之

松浦佐用姫

問

ワキ(旅の僧) 御厨 誠吾
 (所の者) 野村 万禄

後見

山口剛一郎
 多久島法子
 井内 政徳

地謡

今村 嘉伸
 坂口 信男
 山本 博通
 森本 哲郎
 今村 一夫
 久保誠一郎
 林本 大
 今村嘉太郎

笛 森田 徳和
 大鼓 白坂 保行
 小鼓 清水 皓祐

多久島 利之 「観世流能楽師」

唐津市出身。
 重要無形文化財総合保持者、日本能楽協会会員。
 佐賀芸術文化賞受賞。

多久島 法子 「観世流能楽師」

福岡市在住。東京藝術大学卒。
 祖父、父に続き能楽師となる。
 大槻文蔵に師事。福岡、唐津、佐賀、大阪にて能楽教室を開催。
 舞台活動の他、子ども教室、講演活動も積極的に行う。

能「松浦佐用姫」解説

西国修業の旅僧が肥前国松浦湯を尋ね、あこがれの地の景色を愛でていると、釣り竿をもった海女乙女が現れ、鏡宮への参拝を勧めます。また、佐用姫の領巾振り伝説を語り、山上憶良の万葉歌を詠じ、昔を偲びます。乙女は妄執の救済を僧に頼み、形見の鏡を見せることを約束して姿を消します。

所の者が狭手彦の船出を見送った佐用姫が鏡を抱いて身を投げたことを物語り、旅僧の夢待ちの中に佐用姫が鏡を持って現れ、僧はその鏡の中に狭手彦の姿を見ます。佐用姫が船を見送る領巾振り、鏡を抱いての狂乱と投身を見せたところで僧の夢はさめます。

この能は松浦佐用姫伝説を素材にした能です。唐津には鏡山、鏡宮、衣干山、加部島など佐用姫伝説ゆかりの地は多くあります。